

第 10 回岩壁杯陸上競技対校選手権大会

要項

1. 主 催 国際武道大学陸上競技部
2. 場 所 国際武道大学陸上競技場 (競技場コード 123060)
(千葉県勝浦市新官 8 4 1 JR 勝浦駅より徒歩 20 分)
アクセスは陸上部 HP<<http://ibu1984tfc.s1.bindsite.jp/>>を参照。
3. 期 日 2016 年 4 月 24 日 9 : 00 開会式 10 : 00 競技開始
4. 競技種目 <男子対校>
100m、200m、400m、800m、110mH、400mH、4×100mR、4×400mR、
走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投
<男子オープン>
100m、200m、400m、800m、110mH、400mH
5. 参 加 料 各校負担金 5 万円、1 人あたりエントリー費 2200 円 (T シャツ代、ゼッケン代込み、その他)
リレーについて、エントリー費は取らない。
6. 出場資格 1) 平成 28 年度 日本陸上競技連盟登録者
2) 国際武道大学、城西大学、大東文化大学、中央大学、東洋大学、駿河台大学、
法政大学の 7 大学の所属部員又は関係者。
3) 同一人の出場数の制限はない。
4) 対校種目については、1 種目につき各大学 3 名まで出場可能とする。
5) OP 参加の選手は申込用紙に「OP」と明記してエントリーする。
7. 申込方法 競技会用申込書を国武大陸上部のホームページ<<http://ibu1984tfc.s1.bindsite.jp/>>
からダウンロードし、記入の上、メールで ibu1984tfc@yahoo.co.jp へ送信する。
参加料は下記の口座へ送金すること。その時の手数料は各校負担のこと。
入金者の名義は『〇〇大学』にすること。

振込先 千葉銀行 勝浦支店 (普通) 3 2 5 7 1 3 7 (名義) 国際武道大学 陸上部 眞鍋芳明

- 申込期日 3 月 14 日 (月) ~ 3 月 21 日 (月・祝) 15 : 00
- 振込期限 3 月 23 日 (水)
- 申込書類 競技会用申込書 平成 28 年度の登録番号で記入すること
駐車場申請書 駐車を希望する方のみ

8. 競技方法 競技は2016年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会競技注意事項により実施する。
9. その他
- 1) 競技中の事故等による身体の故障の場合、応急処置を主催者側で行うがその後の責任は一切負わないものとする。
 - 2) 取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他の競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
 - 3) 大会当日、本部にて各校受付を行う。その際、振込明細書を提出すること。

10. 連絡先 主務 秋山 真毅

E-mail ibu1984tfc@yahoo.co.jp

※陸上競技部 HP アドレス<<http://ibu1984tfc.s1.bindsite.jp/>>

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2016 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- ①当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- ②更衣室は 9 号館地下 1 階の更衣室、または指定された更衣場所を使用すること。また、荷物、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。
- ③競技場は全天候舗装である（競技規則第 143 条の競技用靴に関する条項を参照）。
- ④練習場所はバックストレートを使用すること。ただし、周回競技が行われている場合は使用してはならない。
- ⑤フィールド競技の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に行う。
- ⑥リレー競技で使用するマークは各自で用意する。使用したマークは、使用后各チームで必ず取り除くこと。

3. ナンバーカードについて

- ①走高跳、棒高跳競技者は胸、または背だけでもよい。
- ②トラック種目出場者は、主催者が用意する写真判定用腰ナンバーカードをパンツの左下やや後方に付ける。
なお、リレー競技においてはアンカーのみ腰ナンバーカードを使用する。

4. 競技者の召集について

召集方法は以下の通りとする。

トラック	一次召集は競技開始の 40 分前から 20 分前までに、本部テントに提示してあるスタートリストの各自の氏名を丸で囲む。このとき、腰ナンバーカードを受け取る。棄権する場合は、氏名に横線を引く。 二次召集は競技開始 10 分前にスタート地点付近で行う。 次ラウンドについても同様。
フィールド	競技開始 30 分前に現地で行う。
リレー	オーダー変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙（本部に用意）に記入し、競技開始の 1 時間前までに本部に提出。一次・二次召集についてはトラックと同様。

5. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用しなければならない。

ただし棒高跳用ポール、投擲物は、個人所有のものが使用できる。事前に送付を希望するものは、下記住所に送付すること。投擲物については、主催者で行う検定に合格したもののみ使用できる。

〒299-5295 千葉県勝浦市新官 841 国際武道大学 陸上競技部 宛

6. その他

- ①走高跳のバーの上げ方は、当日決定する。
- ②競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もあるので、その場合はアナウンスで連絡する。
- ③競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が掲示されてから 30 分以内（次ラウンドがある場合は 15 分以内）に、本部に申し出ること。
- ④競技中の事故等による傷害の場合、本学トレーナーが応急処置を行うが、その後の事象について主催者は一切の責任を負わないものとする。ただし、2016 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ⑤大会の様態を本競技部 HP に掲載するために、競技中の写真を撮影・使用する。撮影された写真の肖像権は全て本競技部データベースチームに帰属するが、撮影もしくは HP への掲載を望まない者は、その旨を大会本部へと伝えること。
- ⑥トラック競技の記録は写真判定装置を使用し、すべて電気計時とするが、突発的なメカニカルトラブルが生じた場合は、カメラ撮影による計時へ切り替える。
- ⑦その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。